



令和8年 6 月 30 日

各報道機関 御中

国境を越える脅威に挑む： 持続可能な家畜衛生のための国際技術協力の新展開 ～ 第16回宮崎大学産業動物防疫センター国際シンポジウムを開催 ～

この度、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC：Center for Animal Disease Control）では、第16回宮崎大学産業動物防疫センター国際シンポジウムを開催することとしましたのでお知らせします。

宮崎県では、2010年に発生した口蹄疫により、約7万頭の牛と約22万頭の豚が殺処分されるという未曾有の惨事に見舞われたことから、2011年に、日本で唯一の産業動物感染症を専門に扱う研究センターとして宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC）が開設されました。CADICでは、アジアにおける産業動物感染症の研究拠点として最先端の研究を進めるとともに、国際協力機構（JICA）や県などと連携しながら人材育成を行っています。また、設立以来、年1回の国際シンポジウムを開催し、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ、アフリカ豚熱などの産業動物感染症に関する最新の知見や情勢などを提供してきました。

今回は、「持続可能な家畜衛生のための国際技術協力の新展開」をテーマとして取り上げます。グローバル化の進展に伴い、口蹄疫、アフリカ豚熱（ASF）、高病原性鳥インフルエンザなどの越境性家畜感染症は、一国の防疫体制のみでは封じ込めが不可能な共通の脅威となっています。特に開発途上国における家畜衛生の脆弱性は、自国の畜産振興を妨げるだけでなく、周辺国や日本を含む世界的な供給網に対する潜在的なリスクとなっています。本シンポジウムでは、農研機構（NARO）が誇る科学的知見と、国際協力機構（JICA）による技術協力の歩み、そして日本での研修を経て自国で陣頭指揮を執るリーダーの知見を融合させ、持続可能な家畜衛生ネットワークの構築に向けた「新展開」を議論いたします。

本学としては、これまで培ってきた研究成果とネットワークを生かし、本県をはじめとする各地の畜産業等を守ることに貢献していく所存でありますので、本シンポジウムの取材等についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

- 日 時：令和8年7月7日（火）13:30-17:00
- 会 場：宮崎大学創立330記念交流会館
（対面形式とZoomを用いたオンライン形式によるハイブリッド形式で実施）
- 対 象：畜産・獣医療に関わる研究者、行政関係者、一般市民
- 言 語：日本語・英語（同時通訳あり）
- その他：詳細は別紙チラシを御確認ください

<セミナーに関する問合せ先>
産業動物防疫リサーチセンター
TEL:0985-58-7674
e-mail:cadic@miyazaki-u.ac.jp

<発信元>
企画総務部総務広報課広報係
TEL:0985-58-7114
e-mail:kouhou@miyazaki-u.ac.jp



国境を越える脅威に挑む

持続可能な家畜衛生のための 国際技術協力の新展開

開催日

2026 **7/7** (火)
13:30-17:00(開場13:00)

会場

宮崎大学 木花キャンパス
**創立330記念交流会館
コンベンションホール**

定員: **100**名・オンライン**150**名

参加費: **無料**

要事前申込、駐車場無料

事前申込はこちらから→



ウェブ配信あり
日↔英同時通訳

講演 1

**口蹄疫対策を支える科学技術と国際連携:
農研機構における最近の取り組み**

農研機構 動物衛生研究部門 深井 克彦

講演 2

**家畜衛生分野の国際協力の潮流とJICAの協力戦略
～共創と環流～**

独立行政法人国際協力機構(JICA) 桐野 有美

講演 3

From JICA Training to National Impact in Namibia

ナミビア中央獣医研究所 Ellini Hamunyela

総合討論

【お問い合わせ先】

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

TEL:0985-58-7674

Email:cadic@miyazaki-u.ac.jp

HP:https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/

主催:宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

共催:J-PEAKS(地域中核・特色ある研究大学強化促進事業)

8大学産業動物防疫コンソーシアム

名義後援:農林水産省、宮崎県、日本獣医師会

協力:JICA